

7月16日(火)

受け入れるべきもの

聖書朗読 マタイ 4:12~22

イエスは彼らに言われた。「わたしについて来なさい。あなた方を、人間をとる漁師にしてあげよう。」
マタイ 4:19

なんと素晴らしい光景でしょう。4人の優れた漁師たちが彼らの仕事、家族、人生を後にして、イエスと呼ばれる巡回する宗教指導者に導かれました。彼らは以前にイエス様のことを見たり、聞いたりしたことはなかったのでしょうか。私たちが知る由もありません。もはや、イエス様の招きを彼らが受け入れた時に、彼らが何を考え、感じていたのかも分かりません。私たちが知るのは、彼らは、網、船を残して去ったということのみです。ヤコブとヨハネの場合、彼らの父親を後にし、イエス様に付き従ったのです。

イエス様は私たちが今日もそのようにすることを勧めています。イエス様は私たちを招いておられます。ある哲学を学んだり、政治的な運動に加わったり、世間の流行にながされるのではなく、ただ十字架の上に付けられ、蘇った神の御子イエス様に付き従うようにと、イエス様は諭されます。そして、イエス様は私たちに、もし主に付き従うのなら、私たちが必要とするこの世のもの以上のものを与えてくださると約束されます。イエス様と交わることによって、世界と全てのそこに暮らす人々を贖うという素晴らしい働きの中で、彼らの素晴らしさと父なる神様を讃えるという人生の意味と目的とをです。それは私たちが決して、拒否することが出来ない招きなのです。

聖歌 580

祈り 天の父なる神様。あなたの御子が私たちに送ってくださった招命に私たちの耳が開かれますように助けてください。主の招きの素晴らしさに私たちの心が開かれますように。主の招きが促す愛に、私たちの心が開かれますように。どうか、私たちの人生が、主の招きを受け入れますように。そして、主に従っていけますように。今も、そして、いつまでも。

イエス様の御名によって祈ります。アーメン。

ポール・ワトソン

ノースキャロライナ州 デューハム

7月17日(水)

少数派の反応

聖書朗読 マタイ 5:38~42

あなたに1ミリオン行けと強いるような者とは、いっしょに2ミリオン行きなさい。
マタイ 5:41

私のおじのお葬式のしばらく後、私のおばは私の兄メイジャーに、おじの1930年製のシボレーをくださいました。考えてみてください。1940年代に17歳だったアフリカ系アメリカ人の若者が自分の車を所有していたことを！ 私たちはその車をととても大切にしました。その車のおかげで、乗り物が必要だった少年少女たちの中で、メイジャーは一躍人気者となったのです。

ある日、彼はぬかるみにはまってしまいました。驚いたことに、二人の若い白人の青年が助けようとしてくれたのです。兄はそれ以上に彼らに驚かされました。「ありがとうございます。こちらこそ協力することが出来て。とても感謝しているよ」。この話は、私たちの家族の中で何十年も語り継がれています。この場合、肌の色は彼らにとって、何の意味もありませんでした。その白人の青年たちは、実際、助けることに喜びを見出していたのです。

私が、イエス様は貧しい少数派だったことを知った時、私は、主が圧政的な環境で生き延びるための多くの戦略を与えたことを見る事が出来るようになりました。例えば、「何事でも、自分にしてもらいたいことは、ほかの人にもそのようにしなさい」です。私の兄メイジャーも、ずいぶん昔に、そのことについて学んだのです。

讃美歌 452

祈り 親愛なる神様。どうか人々が私たちの良い行いに心をとめることが出来ますように。そして、彼らが神様をあがめることが出来るように助けてください。

イエス様の御名によって。アーメン。

カルビン・ボワーズ

カリフォルニア州 ロスアンジェルス

7月18日(木)

神様は結びつけました

聖書朗読 マタイ 6:14～17

わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うこと、これがわたしの戒めです。
ヨハネ 15:12

赦しと断食はその節の中で結びついています。なぜでしょうか？ なぜなら、その両方とも、とても意味のある方法で、私たちが神様と結びつける内的な働きをするからです。私たちは、断食についてよりも、赦しについて、よく話をします。しかし、イエス様は、マタイの福音書6章の中でほぼ同じ口調で二つのことについて話しをされました。赦しは、神様が常に私たちのためにされていることです。それは、私たちの罪や自己非難から私たちを解放し、赦すという能力を与えてくださいます。赦しは私たちの人生の中の全てのものを変えます。それは、真の清めです。

断食もまた、清めの行為です。それは礼拝の行為であり、神様に集中しようとする努力の行為でもあります。それは、私たちが創造され、私たちの中に生き続けるただお一人の方に、激しく集中するために何かを放棄するという機会でもあります。それは、神様と子どもについてであり、見せるためのものではなく、ただ関係のためなのです。

それについて考えてみてください。赦しもまた、関係を築くものであり、見せるためのものではありません。両方とも神の行為であり、そのおかげで私たちが神様自身に近づき、私たちが神様の子どもに近づくようになることが出来るのです。赦しと断食は結びつき、神様と、神様の力と、哀れみはその結びつきであるのです。どうか、その両方があなたを内側から変えるようにしてください。

讃美歌 第二編 3

祈り 親愛なる神様。あなたの赦しを感謝します。そして、私たちが赦すことが出来る能力を与えてくださったことに感謝します。また、あなたに近づくことが出来るための断食の能力をありがとうございます。
イエス様の御名によって。アーメン。

シェリー・リアムス
テキサス州 ラボック

7月19日(金)

哀れみ深いイエス・キリスト

聖書朗読 マタイ 15:29～38

イエスは弟子たちを呼び寄せて言われた。「かわいそうに、この群衆はもう三日間もわたしといっしょにいて、食べる物をもっていないのです。彼らを空腹のままに帰せたくありません。途中で動けなくなるといけないから。」

マタイ 15:32

哀れみは、あるクリスチャンたちが大切にしようとする性質であり、ある人たちは無視しようとする性質です。多くの人たちは、それを大切だと見なしながらも、第二の福音として、中道を歩もうとします。ある人々は生まれつき、他の人々が他者への奉仕のために叫び声を上げていたとしても、それらはおかまいなしに、ただ、イエス様の足元に座ることを居心地の良いことだと感じてしまいます。

人生のいわゆるすべての面において、私たちはイエス様がどうされたかということだけではなく、どんな方法でされたかということについて、注意深さを払わなければならない必要性があります。

マルコの福音書1章38節の中で、イエス様は弟子たちに「さあ、近くの別の村里へ行こう。そこにも福音を知らせよう。わたしは、そのために出て来たのだから。」とおっしゃいました。しかし、短い3節の後、イエス様はツァラアトに冒された人に対して、哀れみに満たされ、手を差し伸べ、その人に触られました。イエス様の目的は、ただ神の御言葉をその人に伝えることでした。しかし、イエス様は人々に教えられると共に、出会った人々に哀れみを注がれることを決して欠かしませんでした。もし神の御子が、聖霊の癒しのための場面を作るために肉体を使われたら、私たちはそれを選ぶことが出来るのでしょうか？ 「あなたも行って、そのようにしなさい」という言葉に従わないのでしょうか？

讃美歌 121

祈り 天のお父様。あなただけが、人間の肉体と聖なる必要性の間の完全なるバランスを見せてくださいます。どうか、私たちの手本としてのイエス様に私たちの目が留められますように。

イエス様の御名によって祈ります。アーメン。

ケイ・バーナムエバンズ
テキサス州 ラボック

7月20日（土）

全 て の 心 か ら

聖書朗読 マタイ 22:34～40

そこで、イエスは言われた。「『心を尽くし、思いを尽くし、知力を尽くして、あなたの神である種を愛せよ。』
マタイ 22:37

オットー・フォン・ハプスブルグは、1918年に帝政が廃止されたオーストリア・ハンガリー帝国の皇太子でした。彼は、つい先日98歳の年齢で、有名な帝政王国の最後の人として、この世を去りました。雑誌タイム誌によると、彼の屍は、彼が最後に暮らしたオーストリアに埋葬されましたが、しかし彼の心は彼の家系がルーツとするハンガリーの国境地帯に葬られたと伝えられました。

もし、あなたの家族や私の家族がこの習慣を真似したらどうなることでしょうか？私たちの多くは、私たちの屍は埋められることを知っています。しかし、私たちの心はどうでしょう？

私は、一週間のうち6日間をゴルフコースで過ごす友人を持っています。彼の家族は彼の屍を彼の故郷の墓地に運んだ後、彼らは5番のフェアウェイの水のハザードの脇に彼の心を埋めるべきでしょうか？ヨーロッパでは、過去の高位の人々の墓石は、素晴らしい壮大な建築物に葬られています。今既に心穏やかな状態であるにもかかわらず、わざわざ教会堂に行って心を落ち着けるべき人などいるのでしょうか？

あなたの心はどうでしょう？ あなたの親友は、すぐにこの適切な最終地について賛同しますか？ オットー・フォン・ハプスブルグの心はハンガリーにつながっていました。もし、あなたがあなたの心すべてで、神様を愛しているのなら、あなたの愛する者がどこにあなたの心が属しているか考えるでしょう。

讃美歌 第二編 173

祈り どうか神様。私たちをお赦してください。私たちが、この世の生活に目を暮れ、あなたとあなたの王国を追い求めようとする喜びから遠ざかろうとする時、私たちをお赦してください。

イエス様の御名によって。アーメン。

ジーン・シェルバーム
テキサス州 アマリロ

7月21日（日）

ゲ ッ セ マ ネ

聖書朗読 マタイ 26:36～46

それからイエスは弟子たちといっしょにゲッセマネという所に来て、彼らに言われた。「わたしがあそこに行って祈っている間、ここにすわっていなさい。」

マタイ 26:36

エルサレムの市の壁の外に、ゲッセマネがあります。そこはとても美しい、オリーブの果樹園です。よく、そこは庭園と呼ばれます。なぜなら、イエス様とその弟子たちがよく祈りをささげた平和の場所であるからです。ゲッセマネはまた、イエス様が苦痛と心配の過酷な時、私たちの神様の決心の宗教上の場所として描かれます。

ゲッセマネは、言葉としては、油が注がれた場所という意味です。この庭園では、オリーブが収穫され、大きな石の下での大きな圧力で、オリーブ油が搾り出されます。この工程を通して、明かりを灯す燃料を供給し、傷を癒し、心身に栄養を与えるという素晴らしい油が得られます。

ゲッセマネで、イエス様は、痛みの苦痛から逃げ出したいという願いと、十字架上のイエス様の死を通して、人類を救うという父なる神の意思の間で、葛藤しました。イエス様の血は、私たちの道を照らし、私たちの罪の傷を癒し、乾いた私たちの魂に力を与えてくださいます。

あなたは、苦痛の中に自分自身を見出した時、神様を心に留めましょう。あなたの恐れや願いを祈りましょう。そして、主の意思がなされるように願い求めましょう。そして、主の意思を受け入れましょう。あなたが心を明け渡すとき、神様が良いことをなさることを可能にされます。

讃美歌 399

祈り お父様。どうか、私たちが困難に陥った時、あなたの意思を選び取ることが出来ますように助けてください。

イエス様の御名によって。アーメン。

ローリー・キール
テキサス州 キャニオン